

教えて！  
教育長さん

気仙沼小学校



児童数 228名  
学級数 12学級

# もっと！ESD!! ～子どもたちの未来のために「持続可能な社会」を～ 29

ESDに取り組む各学校の紹介をします。今回は気仙沼小学校です。

気仙沼小学校では、持続可能な社会の実現に向けて、自然との触れ合いや体験を通して感受性を高め、身近な環境から課題を見つけ、探究しようとする子どもたちを育てることを目指しています。

## 3年生 「海を生かした地域の産業」

### ～スペシャルフィッシュの秘密を追え～

魚市場やシャークミュージアム、サメを加工・販売する会社やお店など、さまざまな方々に協力をいただき、サメの秘密に迫ってきました。サメは捨てるどころがなく、肉や皮だけではなく、歯や骨、肝臓まで有効活用されること、気仙沼の人々がさまざまな思いを持ってサメを生かした産業に取り組んでいることを学び、地域の産業への興味や関心を高めました。



サメ皮の特徴を触って確かめる

## 4年生 「防災・減災のためにできること」

### ～防災マップをつくろう～

「災害に強いまち気仙沼」をテーマに防災学習に取り組みました。気仙沼防災教育推進委員会や自治会の方々などに協力をいただき、子どもたちが学区内を歩き、危険箇所や安全な避難経路、災害に対する対策などを詳しく教えていただきました。子どもたちは、昔から地域に住む人たちの経験や安全なまちをつくるための工夫などを学び、周りの人にも知らせたいという思いを持ちました。学習のまとめとして、防災・減災のためのオリジナル防災マップを作成し、防災意識を更に高めました。



学区内を歩いて確認

## 5年生 「海と人の共生について考えよう」

### ～海と生きるまち気仙沼～

気仙沼の水産業の特徴や漁業と海との結びつきについての学習に取り組みました。「舞根森里海研究所」や「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」などさまざまな方々から、気仙沼の海と人々の生活との結びつきについて教えていただき、気仙沼には豊富な水産資源があること、東日本大震災以降の漁業に関わる方々の復興に向けた取り組みや思いに気付くことができました。



プランクトンについて説明を受ける

## 6年生 「気仙沼未来創造プロジェクト」

### ～私たちのまち 未来の気仙沼～

震災から12年が経過し、復興から未来創造という視点に切り替え、よりよい気仙沼を創造するために自分たちができることについて考えました。地域で働く方々との対話を通して、気仙沼の魅力に気付き、それらを観光客や他地域の人々に発信していきたいという意欲を高めました。学習のまとめとして、気仙沼の名物や名所、お店などを紹介するポスターや動画を作成したり、特産品を使ったオリジナルのお弁当を考案しました。



地域で働く方との対話